

思いやりの気持ち

対象児: 5歳児かえで組

作成者: 薦田莉奈

作成日: 2026.2.27

ねらい: 思いやりの気持ちを持って優しい言葉や行動を実行する。



卒園まであとわずかとなりました。製作や活動、歌など卒園に向けて取り組むなかで、友だちや家族の大切さを改めて感じている子どもたちです。積み木を高く重ねて遊んでいる時、自分がやりたい！という気持ちがある中で「〇〇君次どうぞ！」と譲り合う姿、悲しい気持ちのお友だちに気付いて「どしたん？」と優しく声を掛ける姿など、自分たちで気付いて優しい言葉をかけられるようになりました。この一年間を通して自分の事で精一杯だった子どもたちが、友だちとぶつかったり励まし合ったりする中で思いやりの気持ちを感じ、子どもたちの心が優しく育っている事を嬉しく思います。「ありがとう ころをこめて」の歌の中に『みんなといっしょにわたしたちは おおきくおおきくなれたよ』という歌詞があります。この歌詞の通り、みんなが支え合い、助け合って生きている事に気付き、感謝の気持ちを持ってこれからも過ごして欲しいと思います。(健康な心と体、自立心、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い)